

昨年、青森演劇鑑賞協会創立60周年記念として、青森市の市民ホールで上演された舞台『還暦の歌』の初顔合わせ。出演を希望する鑑賞協会の会員と、一般公募者約30人を前に、『ここに集まった一人ひとりの物語を書きます』と話したのが、脚本と演出を手掛けた、劇団インテルビスタの沼沢氏だった。

わずか2ヶ月ほどで書き上げた脚本には、様々な動機と人生経験を持ち寄った人たちの物語が描かれていた。親と子、劇団や鑑賞団体の先輩と後輩、若者たちの恋模様など、普通の人々の日常、過去と現在を鮮やかに紡ぎ出し、観客から多くの喝采が寄せられ、出演者・関係者は高揚感に包まれた。

4月30日、八戸市・スペースベンで、インテルビスタ公演『考える牛』を観劇。

舞台は、イベント開催中のショッピングモール内にある、物置のような会議室。牛の着ぐるみを纏った中年男は、講師として勤めていた学習塾が潰れて失業し、モールへの来店客に飴を配るアルバイトの休憩中。

部屋に入ろうとする人の気配を感じれば、脱いでいた着ぐるみの頭を慌てて被り、昼食の買い出しに店内へ向かう時も、着ぐるみの下半身は着替えず、飴を配るだけではつまらないからと、牛による栄養教室を画策する。それなりのやり甲斐を持っていた仕事を失い、自分だけの『特別』を求める男にとって、とりあえず今は、牛の着ぐるみこそがやり甲斐であり『特別』なのだ。そんな男の小さくてウザいものがきは滑稽で、どこか切ない。

しかし物語の終盤、イベントに出演するプロレスラーたちが、ドタバタとトレーニングをしている舞台の片隅で、牛の鳴き真似や、着ぐるみらしい動きの練習をする中年男の姿に、ウザさや切なさはない。小さな『特別』に気付いた清々しさや、強さと優しさが仄かに漂っていた。

牛の雇い主のイベント会社に勤め、現場責任者である妻、牛の言動にイラ立ち、白い目を向ける店舗の催事担当者、実は牛と浅からぬ縁を持つローカルプロレスラーたち

のやりとりは、軽妙で日常的。個性豊かな役者陣の過不足ない演技は、場面の空気感や展開を的確に伝え、観客の意識を途切れさせず、心地よく騙し続けてくれた。

今回で3度沼沢氏の作品に触れ、共通して感じるのは、役者＝素材の活かし方の巧さと、物語に登場する人物たちへ注ぐ視線の温かさだ。こんな脚本家のもとで芝居を創ることが出来る人たちのことを、役者の端くれとして羨ましく思える。次の沼沢作品、これからのインテルビスタへの期待を、否応なく高めてくれる幸せな70分だった。ん？これが沼沢氏の騙しのテクニックで、私はそれにまんまと嵌まっているのか…。

筆者近況

八戸市出身。青森市を中心に、客演やプロデュース公演参加など演劇活動を行う。これまでの出演団体は、BLUES BLUE BROTHERS、渡辺源四郎商店、平川市演劇集団・夢ぶたいなど。11月には劇団支木（青森市）公演へ出演予定。

あっちこっちシアターインフォ

文／北魚昭次郎

牛ですら考えるのだから…



第34回八戸高校演劇部・ギターバンド部合同自主公演

【日時】6月12日(日) 12:30開場 13:00開演 (13:00～ギターバンド 15:10～ダンス 15:55～演劇) 【場所】八戸市公会堂文化ホール 【問合せ】八戸高等学校 ☎0178-44-0916

◎演題「こはんの時間2」(既成) 作:青山一也 潤色:八戸高校演劇部

〈あらすじ〉4時間目を終えたら昼休み。デザイン科の7人にとってもにぎやかな時間。けれどお弁当を食べながら互いの将来について話し合っていくにつれて…

〈Cast〉福田亜由美=渡辺渚都美(1年) / 細川美保=小笠原遥(1年) / 中曾根理恵=山口華鈴(3年) / 宇野勇氣=高橋周平(3年) / 村山由香=長津みなみ(3年) / 吉田仁=横山虎之介(3年) / 小淵さくら=川口美咲(3年) / 桜井先生=花田隆之介(2年)

〈Staff〉舞台監督:藤田悦子(2年) / 舞台:成田晴紀(1年) 加藤紗寧(1年) 田中ふき(1年) 畑中彩花(1年) 西野蓮(2年) / 照明:於本拓也(2年) 中野皓斗(2年) 畑内紀龍(1年)

音響:外里遥(2年) 石屋知里(2年) 木村亮太(1年) / メイク:谷中彩歌(2年)

〈抱負〉八戸高校演劇部です。個性よりもアクの強いメンバーで活動しています。今回は私達高校生にとって大きなテーマ「進路」を題材にしました。演じるのも演じられる役も高校生。

多感な青年期の少年少女を舞台でどう魅せるか。それを考えながら挑みます。最後まで楽しんで頂けたら幸いです。

演劇空間 **スペースベン**

～演劇好きのための、演劇の場～

※特別番組以外 金曜日は19時30分～、土曜日は14時～、

料金は一般前売400円/高校生以下100円(当日100円増)

※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内

容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい

八戸市柏崎1-11-8 TEL:0178-43-9876 FAX:050-3588-8350

携帯:080-6025-0990 E-MAIL:owner@spaceben.com URL:http://spaceben.com/



FANS FRIDAY AMUSEMENT NEGATIVE SHOP

【FANS予定】第1165～1168回 ※入場無料
「たべり場 2016.6」の開催予定ですが、詳細はホームページで確認するか、お問合せください。

WHAT'S "FANS"? 多目的スペース「SpaceBEN」にて、毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

公演情報配信ご希望の方は、owner@spaceben.com 宛にメールをお送りください。